

■愛犬テツを看取って・・・・

2009年1月22日(木)永眠から4日経って……



写真は1月17日に善光寺に初詣に行ったときのものです

テツは1993年1月8日。5人兄妹として誕生。

■2009年1月18日午前7時、苦しむ事なく穏やかに、眠る様に天国に静かに旅立ちました。

16才と10日の天命を全うして虹の橋の階段を上っていきました。

奇しくも・・・1月18日は初観音様の日でした

■ 2009年1月17日。念願の善光寺へ2時間の小さな旅にでました。(認知症になって・2007年5月から車が嫌いになり、何処へも行くことが出来ませんでした)

寝たきりになって(2008年8月下旬)から最近少し車で泣かなくなった事もあって・・・思いきって・・・善光寺行きを計画しました。

車中、2時間の距離をずっと抱いていました。余り泣くこともなく・・・

テツとは2年振りの善光寺。テツを抱いての初詣でした。

行く車中、テツの温もりをいっぱい体に受け止めて・・・。やっと・・・テツと行く事が出来たんだと思いました。

もしかして・・・これが・・・最期のテツとの善光寺詣になるかもしれない、ただ・・・頭の中で漠然と考えてはいました。

境内での久しぶりに見るハトのいる風景。参拝客とお線香の匂いと人々の幸せそうななにげない会話・・・。テツを抱いて・・・ありふれた幸せな時間が流れていました。

抱いてゆっくり歩き、テツの写真も撮りました。抱いていてテツは眠そうな顔をしていた。

けれど・・・格別に嬉しい瞬間でした。テツと一緒に来られた感激は忘れる事が出来ません。元気な頃は毎年恒例できていましたので・・・。

参拝を終え、レストラには入れないので車中でテツと昼食。

帰途中、更埴のスーパーでテツの傷(床ずれ)の手当ての紙絆創膏、テツの缶詰、大好きなブリを買いました。

帰りの車中のテツは少し疲れ気味でおとなしく寝てばかりでした。
自宅に帰っていつもの場所にテツをねかせました。

夕ご飯はブリを焼いてスプーンでテツの口元に運ぶと、食べたくないと言ったので夜中の2時に、またまたいつものように泣いたので、お腹すいてると思いブリご飯をあげると美味しそうに口を大きく開けて（普段は寝たきりで口の筋肉が弱って小さな口でしたから）食べてくれました。大好きな牛乳の水割りも飲ませました。

いつもの様にテツと川の字になって朝まで熟睡でした。

途中、テツは泣く事もなく・・・。

7時に起きて、テツのオネショパットを調べるとウンチは一つ。取り換えようとしてテツを抱き上げると、頭が座りませんでした。大あわて・テツを何度も何度もおこし続けました。

そうしていると・・・2個目のウンチをしました。これで・・・まだ大丈夫かなと思っていましたが・・・でも・・・二度と起きる事はありませんでした。きっと・・・最後のウンチは「さようなら」のメッセージだったかもしれません・・・。

テツのからはまだ温かく、口の中の舌は紫に変化して鼻が冷たく感じました。

気が動転していました・・・。

すぐに朝の8時になり、テツの主治医の院長先生に電話。生憎休日で出先でしたが・・・

状況を説明すると・・・蘇生は無理との事でそのまま逝かせてあげてくださいと言われました。

まだ、何がおきたのが考えられず、冷静で涙も出ませんでした。友だちに電話すると・・・

テツ繋がり友だちがすぐに沢山きてくれて、(テツの実家のご夫婦など・・・アドバイス受け、段ボールにテツの傷の絆創膏をとりブラシかけて綺麗にして棺に安置しました。)

真新しいタオルをかけ目を閉じさせて、いただいた菊の花でかざりました。

全て・・・友だちにやって頂いた時・・・テツの棺の寝顔見て現実を迎えざるを得なくなり、涙が、後から、後から・・・嗚咽で・・・！！

止める事が出来ませんでした。

みんなに言われてすぐに斎場に予約の電話を・・・。

20日の午前9時の予約。

永眠した18日は翌朝までお線香を上げお通夜・・・同時間、私は気がふれそうで、パソコンのキーに悲しみをたたき続けていました。印刷するとA4版14枚でした。テツへの手紙として・・・

19日テツの棺の前で14枚の手紙を少し読んで・・・しかし・・・モーーそれ以上涙で声にならず読むことが出来ませんでした。

斎場に行く20日の朝、テツの棺をのせて、テツとの一緒に・・・本当の最期の旅になりました。

車中、棺のテツの冷たくなった頭をずっと撫で続け斎場に近づくとまたまた涙は出て止まりませんでした。

火葬場に着き・・・

受付を終えて、テツの収骨容器を買って・・・



■ 8:22分。

テツの棺に14枚の「テツへの手紙」を入れ、があっという間に火葬炉の中に消えて重い鉄の扉がバターンっと大きな音をたててしまひバーナー点火。バーナーの音がやけに大きく聞こえました。

嗚咽でした。テツ君、熱くないの・・・。



■ 9:10分

収骨。お骨を小さな白い陶器に全て収まり、あっという間に終わりました。

人間様の斎場でしたので立派でした。

お骨になったテツと一路1時間かけて、無事自宅到着でした。午前10:30分。

小さな祭壇を作り、お骨箱、写真、水、花を飾りお線香をあげました・。



以上テツの3日間の出来事でした。

まだ心の整理はつきませんが、ファンの方々へお知らせしなければと思い、書き綴りました。

途中、突然涙腺が何度も、何度もゆるみましたが・・・ただ報告として読んで頂ければ嬉しいのですが・。

今回は沢山のテツ繋がりのお友だちに見守られながらテツは虹の橋の階段を上っていきました。

お友達はテツの為に優しくし言葉をかけて頂き、そして・・・何度もお線香を上げてきて頂き、嬉しい限りでした。

■ **テツを看取って・・・・・・・・**

2007年5月に認知症で徘徊、夜泣きの連続、夜中に何度もおこされトイレタイム、冬は堪えました。寝る時はいつも普段着でいつでも外に行ける様にして、靴下も履いたままで寝ていました。テツの辛かったのが、冬の外でのウンチタイム、寒くて、すごく時間かかり、風邪が心配でした。

そのうち外での排便が駄目になり、オネショパットになり随分楽になりました。

そして・・・2008年8月下旬心配していた寝たきりに・・・。

床ずれで傷が出来きて手当の毎日。先生に壊死して骨が解けていく宣告を受けショックでしたが手当の甲斐があて、傷は化膿しなかったもので、痛がる事はありませんでした。

2008年12月初め辺りから・・・筋肉などの機能をテツの体から奪っていき、シャンプー後のテツの骨だらけのやせた体に涙でした。

食事量も減り、口の筋肉が衰え食べる時間もゆっくりになって、運動しないテツがそれでも口を開けてスプーンからご飯を食べてくれました。

周りのお友だちから・・・「普通だと、とっくに天国だね」とよくいわれました。

6.4 kgの体 g 2.5 kgでしたから・・・。

それでも・・・まだまだ 6 ヶ月は大丈夫とっていましたから・・・

こんなに早く逝くとか夢にも思っていませんでした。

けれど・・・

テツ君はご飯の量も口の筋肉も弱り、これ以上ご飯が飲み込めなくなるのではと言う恐怖心はありました。

そうしたら・・・点滴を受けて生き続けたと思います。

きっとそうなら、耐えられず、気がおかしくなって、安楽死を選んだかもしれません。

それを考えると・・・一生自分を攻め続ける事になったのではと、考えたりします。

テツは多分それを知って天国に逝ったのかもしれない・・・

テツには「死んじゃ駄目だよ。長生きするんだよ。

まだまだお別れの決心がついてなから・・・ネ」といつも話かけていました。



今までテツのファンで頂いて有り難うございました。

テツ君はいつも「可愛い・やさしい目だね・かわいがられてる・・・ネ」と声をかけられ、日記で多くのファンに愛されて、幸せだったと信じています。

私もテツには・・・「有り難う」の一言です。

つたない文章を読んで頂き有り難うございました。



2009年1月22日（木）記 テツの飼い主から・・・